

# 健康

## よもやま話



「腰痛がひどいのでなんとかしてください」。70代の男性患者さんが来院。急に腰が痛くなったとこのことで、腰を丸めてやっと歩いている状態です。検査の結果、腰椎に圧迫骨折が見つかりました。

骨折というとポキッと棒が折れたようなイメージがあるかもしれませんが、圧迫骨折の場合、円柱状の骨が上から押さえられ、つぶれるように変形します。特徴として、骨粗鬆症気味の高齢者に発症しやすいこと、ちょっとした動作が原因で起こる、などがあります。「洗濯物の取り込み」「荷物の運搬」など日常生活の中でも起

清水 明

## 圧迫骨折の可能性を考えて

こり得るのです。特に自覚症状のないまま骨折することもあります。

また、圧迫骨折はレントゲン写真だけでは骨折がはっきりしない場合があります。残念ながら見過ごされることもあるようです。問診、腰椎の診察はもちろん大切ですが、MRI検査ですと、受傷早期から信号変化を認めるため、診断が比較的容易です。

予防には日ごろの骨粗鬆症対策や、転倒防止のために筋力の保持が大切です。いつもの「ぎっくり腰」と思っている、実は「圧迫骨折」であることもあるので、気になる方は受診して検査を受けることをお勧めします。

(北國ドクタークラブ会員、いしぐるクリニック院長 金沢市)